

青森県立保健大学附属図書館だより

Rapport

NOVEMBER 2013 NUMBER

21

栄養関連雑誌の紹介

青森県立保健大学
栄養学科/健康栄養科学分野 准教授

草間かおる

特集

BOOK HUNTING

2013

理学療法学科学生8名 栄養学科学生3名
社会福祉学科学生4名 看護学科学生3名

シリーズ 図書館を使いこなそう

第21回 電子書籍 (eBooks) スタート!!

『ラポール』は、人間同士(学生&教職員&地域住民&県民)のつながりを意味します
Rapport: フランス語で、関係・関連・類似点



栄養関連雑誌の紹介

青森県立保健大学
栄養学科/健康栄養科学分野 准教授

草間かおる

本学図書館に所蔵している栄養関連雑誌の紹介をします。学術雑誌1誌、専門誌8誌です。9誌のほとんどが栄養関連ですが、公衆衛生全般が2誌含まれます。また全ては管理栄養士向けというわけではなく、栄養のみの内容でも、他の保健・医療・福祉従事者に向けたものもあります。9誌の特徴や過去の内容などを載せましたので、ご興味のある方は、是非図書館で実物の雑誌をご覧ください。以下のカッコ内は、出版社（発行者）、および創刊年を示します。



- 1 栄養：評価と治療（株式会社メディカルレビュー社、1990年）

臨床医、研究者、薬剤師、栄養士を対象として、臨床現場での栄養治療・栄養サポートをおもに取り上げた専門誌である。2013年でとりあげられた特集内容は、第35回日本栄養アセスメント研究会発表演題、スポーツ医学における栄養、高齢者の栄養管理などである。



2 栄養学雑誌（特定非営利活動法人日本栄養改善学会、1941年）

国民の健康増進を寄与するために、栄養学・健康科学と栄養実践活動に関する科学的根拠の蓄積と発信、そのための調査研究の推進に資する論文等の情報を提供することを目的とした学術雑誌である。掲載するものはすべて査読審査を経て載せられる。論文の種類には、原著論文、短報、資料、総説の他、実践報告として、栄養・健康増進にかする実践活動の報告もある。



3 公衆衛生（株式会社医学書院、1946年 創刊時誌名：公衆衛生学雑誌）

地域住民の健康の保持・向上のための活動に携わっている公衆衛生関係者のための専門誌である。毎月の特集テーマでは、さまざまな角度から今日的課題をとりあげ、現場に役立つ情報と活動指針を提示している。2013年でとりあげられた特集内容は、アレルギー、衛生行政を担う人材、血液事業、医療安全、若者の精神保健、結核対策、慢性腎臓病、歯科口腔保健、公衆衛生の危機などである。



4 こどもの栄養（一般財団法人こども未来財団、1957年）

幼児期のこどもの栄養について、とくに保育所における給食や食育に関する記事が多く載せられている。幼児期における健康全般を毎回取り上げ、子ども食生活Q&A、保育所給食ですぐに使える献立例、保護者からのメッセージ、食育活動事例など、幼児（保育所）の栄養に関する実践向けの雑誌である。



5 食生活（株式会社カザン、1907年）

食に関する専門家全般、および食に対する意識の高い人々を対象として、楽しんで読んでもらえる食の専門誌としている。2013年に取り上げられた特集の内容は、漬物、蟹、玉菜、酢、醤油、糍・麴、食育などである。食育の特集（2013年7月号）では、「食育」という言葉と「食育運動」の原点についての歴史的背景から食育の海外事情、食育の今後の方向性など多角的な内容となっている。

- 6 日本栄養士会雑誌（公益社団法人日本栄養士会、1958年 創刊時誌名：栄養日本）



時宜にあったテーマの特集、各界著名人からのメッセージ、現場を重視した“実践事例報告”、各分野の管理栄養士・栄養士の活動、栄養・健康情報を記載している。“実践事例報告”は、研究・事例報告、邦文、総説などの投稿を中心とした内容で、査読者による審査もされている。本誌は日本栄養士会会員のみならず、誰でも購読可能である。

- 7 ヘルスケア・レストラン（株式会社日本医療企画、1993年）



保健・医療・福祉分野の管理栄養士・栄養士を対象として、病院・福祉施設などの栄養ケアの向上を目的とした専門誌である。食事で病気を予防し、治療効果をあげることの必要性が認識されてきている現在、それらに対応する能力を身に付けるための情報を多方面から満載している。

- 8 保健の科学（株式会社杏林書院、1959年）



保健(ヘルスケア)における最新的话题を幅広く掲載した専門誌である。2013年の特集内容は、鉛、医療職に対する基礎教育・継続教育、高齢者の健康、地域における緩和ケア、行動変容を促す新たな試み、子どもの緩和ケア、在宅医療におけるチーム医療、アスベスト、インタビュー調査の方法と事例などである。

- 9 臨床栄養（医歯薬出版株式会社、1952年）



管理栄養士、栄養士、栄養に興味のある医師やコメディカル、栄養学研究者、栄養士養成校教員・学生を対象としている。栄養士を取り巻く状況をふまえ、臨床栄養学、栄養学、栄養士制度、栄養行政などの領域から最新の知識・情報を各界の専門家が解説した特集、そのほか関連する食品学、医学一般などの領域から最新のテーマを取り上げた解説や活躍する栄養士の現場の生の声や姿の取材記事など、臨床栄養のみならず、幅広い内容の専門誌である。

BOOK HUNTING 2013

学生が書店で“選書”する『ブックハンティング』。

3回目を迎えた今年は、参加者が18名に増え、図書館恒例のイベントとして定着しました。若い感性で選ばれた、多種多様な本をご紹介します。

秋の夜長のお供に一冊、いかがですか？



今回ブックハンティングに参加してみて、本に触れることは大学に入学してから全くといっていいほどなかったののでいい機会になった。読書も大学生活のちょっとした息抜きになると思った。



『インビジブルレイン』

菅田哲也
光文社文庫
光文社
913.6||H84

映画化されていた本なので読んでみようと思った。刑事ものの話を本で読むことはあまりなかったのでおもしろかった。



『きまぐれ博物誌』

星新一
角川文庫
角川書店
914.6||H92

短い話がいくつもあるので空いた時間に読むのにちょうどよい本だった。



『医学常識はウソだらけ：分子生物学が明かす「生命の法則」』
三石 巖
祥伝社黄金文庫
祥伝社
490||Mi64



『吉田沙保里 強さのキセキ』
長南武
泰文堂
788.2||Ch53



初めての ブックハンティング

理学療法学科 1年 福田圭佑

今回初めてブックハンティングに参加しましたが、本とは関わりの少ない生活を送っている僕にとって、とても新鮮なものになりました。本を探しているときに、様々な本に興味をそそられました。突拍子もないタイト

ルから現代の社会を上手に穿つタイトルまで、タイトルだけでおなか一杯になりそうでした。ぜひこの感動をほかの方にも味わっていただきたいです。



ブックハンティングを 終えて

理学療法学科 1年

河合俊明



『容疑者Xの献身』
東野圭吾
文藝春秋
913.6||H55

『プラチナデータ』
東野圭吾
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||H55

今回、ブックハンティングをやってみて、いろんなことを感じる事ができました。普段あまり本を読まないで、どんな本があるのかほとんど知りませんでした。しかし、実際には僕の想像を超えるほど多くの多種多様な本があることを知りました。政治についての本や映画の原作となった本、またいろいろな生活術を紹介した本など本当に多くの本がありました。

今回を機に、本について興味がわいたので、今後いろんな本をよんでみたいと思いました。



『種ノキモチ』
山田悠介
文芸社
913.6||Y19



『悪ノ教典』
貴志祐介
文藝春秋
913.6||Ki56



今回私はブックハンティングに参加し、2冊の本を選びました。1冊目は山田悠介さんの『種ノキモチ』という本です。なぜこの本を選んだかという、以前、山田さんの本を何冊か読んだことがあって、また山田さんの、まったく先の読めないストーリーを読みたいと思い、

この本を選びました。

2冊目は貴志祐介さんの『悪ノ教典』という本です。これは、映画でみたことがあるので選びました。映画では伝わりにくいことも、本で理解することができました。

私はあまり本を読むことがないため、今回のブックハンティングで、読書の楽しさを知りま



今回ブックハンティングに参加して、自分が欲しかった本やその場で興味をもった本を気軽に読めるようになるのは有り難いことだと思いました。普段本を読まない人やなかなか手を出せない人にはとても良い機会になると思います。自分が好きな本を他の人に知ってもらうこともできます。

また、友人とどんな本・作家が好きなのか話す機会にもなり、「今度読んでみようかな」と新しい分野に興味をもつことができました。こ



『99%の人がしていない
たった1%のリーダーの
コツ』
河野英太郎
ディスカヴァー・トゥ
エンティワン
336.3||Ko76

の点が、今回ブックハンティングに参加して最も良い点だと思いました。

私はリーダーのようなまとめ役が昔から苦手だったので『99%の人がしていないたった1%のリーダーのコツ』という本を選びました。この本ではリーダーに必要なコツがいくつか分類され、それについて細かな要素がまとめられています。さらに大事なところは太字になっていて非常に見やすく、社会人になってからもハンドブックとして活用したくなるような本で、とても勉強になります。

ブックハンティングに 参加してみ

理学療法学科 1年



『神様のカルテ』

3

夏川草介

小学館

913.6||N58

私は今回のブックハンティングに参加してみ、本を友達と探すのが楽しかったです。本を選んでるうちに、大学の図書館には置けないだろうけど、自分で読みたいと思う本も見つけられました。



『ツナグ』

辻村深月

新潮文庫

新潮社

913.6||Ts44



『これでネコともつと話ができる:70の大切なこと』

ネコマニア・ラボ

アース・スターエンターテイメント

ターテイメント

645.7||N62



『受験脳の作り方:脳科学で考える効率的学習法』

池谷裕二

新潮文庫

新潮社

491.371||I33



『女子栄養大学の カフェテリア:キャン 今日のごはんは これで決まり』

小笠原章子

幻冬舎エデュケー

ション

幻冬舎

498.5||O22

私は今回、自分を含め4人のクラスのメンバーとブックハンティングに参加しました。友達と一緒に、沢山の本の中から好きな本を選ぶということでとてもワクワクしました。今まで欲しかったけれど買えなかった本や、読んでみたいと興味をそそられた本を選ぶことができよかったです。普段は、読みたいと思っても、金額などを気にして買えないことがあるので、このような機会があるととても助かります。是非、来年も参加したいです。



『百年法』上
山田宗樹
角川書店
913.6||Y19||1



『百年法』下
山田宗樹
角川書店
913.6||Y19||2



『これでイヌともしっかり話ができる: 70の大切なこと』
イヌマニア・アース・スターエンターテインメント
645.6||I59



『風立ちぬ・美しい村・麦藁帽子』
堀辰雄
角川文庫
角川書店
913.6||H87



『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』
村上春樹
文藝春秋
913.6||Mu43

著・山田宗樹の『百年法』を読みたいと思ったのはとある新聞記事でした。あらすじは、体の老朽化を止める科学が発達した世界で、百歳になったら死なねばならないという法律が日本で成立する、成立させる過程、そしてその人々の話です。私は小学生のころから本が大好きでした。漫画も読みましたが、それ以上に小

説が好きでした。頭が痛くなるのが風邪をひこうが本を眺めていました。今思えばどれだけ本が好きなんだろうと思います。中学生の後半ごろから徐々に本を読まなくなりました。でも時々本屋に寄ると何冊か買い込み、テストだろうが何だろうが読みふけりました。私が本を買うときは殆ど第一印象で、タイトルと書き出しが気に入るかどうかがです。『百年法』も新聞記事の紹介文でこれだ、と思い、ずっと読みたかったものです。分厚い本が好きでしたから尚更です。500頁ほどある本を2、3冊一気に読んで具合を悪くするというのが面白い、という変な性格でした。脱線しましたが、何が言いたいのかというとは是非『百年法』を読んでほしいということです。いや、何でもいいので本を読んでほしいと思います。本によって豊かな心が…とかいうつもりはありませんが、なんらかの影響はあります。本が読みたくても読めない環境なら別ですが青森県立保健大学には大きな図書館があります。テスト前にだけ、しかも本は読まずに席だけ。それだけしか利用しないのはあまりにもったいないと思います。今回ブックハンティングをして図書館の多くの本が読む人を待っていると思いました。試験勉強以外にも息抜きに本を読んでみようと思いました。





草間先生のお誘いで今回ブックハンティングに参加しました。私は元々本が好きでしたが、大学に入ってから、なかなか図書館や本屋に行く機会がなかったので、久しぶりに本を選んで読める良いチャンスだなと思いわくわくしていました。同じゼミの仲間と新町の成田本店に行き1時間ほどかけて、私は4冊の本を選びました。

よしもとばなさんの『さきちゃんたちの夜』という本は私と同じ名前のさきが主人公なので前から読みたいと思っていたので、本屋で見つけることができるととても嬉しかったです。名前は同じだけれど様々なさきちゃんが登場する短編が5つ収録されていました。

『ファミリー・ジプシー』という本は家族で世界一周旅行した時の写真と日記が載っていて、読んだらどこか旅に出たくなるような本です。家族4人全員で4年間もかけて世界一周旅行をするなんてすごいなと思いました。

『敬語ノート』は敬語が苦手な方にお勧めです。敬語の例文がたくさん載っていてとても分かりやすかったです。私も敬語が苦手だったので、就職活動の面接や電話に備えて読み役立ちました。

『アニバーサリー』という本1ページ目の文章を読んで、魅かれました。まだ最後まで読んでいませんが、感動するストーリーだと思いま

す。

大学生活はたくさんやらなければいけないことも、自分でやりたいこともあり、時間が足りないくらいですが、今回ブックハンティングに参加し、久しぶりに本を読み、たまには、ゆっくり本を読んで過ごすのもなかなかよいものだなと思いました。他の学生がブックハンティングした本も読んでみようと思いました。大学の図書館は専門書が多いですが、ブックハンティングで様々な種類の本が増えていくといいなと思いました。自分が選んだ本を多くの人に読んでもらえるといいなと思います。みなさんも是非ブックハンティングに参加してみてください。



『さきちゃんたちの夜』
よしもとばな
新潮社
913.6||Y91



『ファミリー・ジプシー：家族で世界一周しながら綴った旅ノート』
高橋歩
A-Works
290.9||Ta33



『敬語サクッとノート：すぐに使えて、きちんと伝える』
山岸弘子
永岡書店
815.8||Y23



『アニバーサリー』
窪美澄
新潮社
913.6||Ku11



私が選んだ本の基準は、「また読みたいと思った本」「読みたい本」「好きな作者」「興味のある作者」「本屋で目に留まった本」です。この原稿を書いている時点で全部の本を読み終えておらず、紹介が不十分な本もありますが、可能な限り選んだ本の紹介できたらと思います。

妹尾河童さんの『少年 H』。これは、私が中学生の頃に読んだことがある本です。ふと目に留まってまた読みたいなと思い選びました。文庫本で2冊、量の割には読みやすいです。内容は、作者の戦時中や戦後の体験の話です。改めて読み直すとまた違った感じ方がありました。

石田衣良さんから『5年3組リョウタ君』『余命1年のスタリオン』。個人的にこの方の書く本は好きで『池袋ウエストゲートパーク (IWGP)』、『美丘』等がドラマ化されご存知の方も多いかと思います。時代を反映した内容や作者の独特の語り口、表現に注目して読んでもらえると、この本の良さを感じられるかもしれません。

いとうせいこうさんの『想像ラジオ』。この方については、サブカルやバラエティ番組に出るタレントのイメージが強いかと思います。実は、ミュージシャン、作家でもあり、これまでに著書を残しています。後から知ったことですが、この本は芥川賞候補になりました。内容は、読むラジオと表現したら良いでしょうか。曲の紹介もあるので、この本を読みながら紹介された曲を聴くと良いかもしれません。実は東日本大震災を題材にしています。

続いて震災関連で、『石巻市立湊小学校避難



『少年 H』 上
妹尾河童
新潮文庫
新潮社
913.6||Se72||1



『少年 H』 下
妹尾河童
新潮文庫
新潮社
913.6||Se72||2



『5年3組リョウタ君』
石田衣良
角川文庫
角川書店
913.6||I72



『余命1年のスタリオン』
石田衣良
文藝春秋
913.6||I72

所』。個人的に石巻へ公園作りのボランティアで足を運んでいます。そのこともあって、目に留まり選びました。震災に関して色々と思うことはありますが、復興支援をしたいと思っている方はあれこれ考えず、まずは被災地に行ってみて欲しいです。行って、見て、そこで出会った人と話して、そこから何をすべきか考えて欲しいです。この本を読んだ人がそのきっかけになれば幸いです。行動してなんぼですね。

高村薫さんの『冷血』。挫折しそうな文の量です。この本を選んだ理由は、石巻ボランティアで知り合った人にこの作者を好きな方がいて、青森を舞台にした『新・リア王』が面白いよ。と話題になり、高村薫という人の存在になったのでこの本を選んでみました。内容は、現時点で全然読めていないので割愛します。

夏川草介さんから『神様のカルテ 3』。シリーズの続編ですね。ご存知の方も多いので、こ

ちらの内容も割愛します

最後は、有川浩さんから『県庁おもてなし課』。映画にもなりましたね。私は青森に来る前、高知に住んでいたのを読んでいて土佐弁が懐かしく感じました。語尾の「～き」は「～だから」、度々登場する「が」は「の」に相当します、このように随所に土佐弁が見られます。「～せんが？」は「～しないの？」となります。土佐弁の例文を挙げると、高知はえいところながやき、一度は来てみや。（高知は良いところなので、一度は来てみてね）、となります。これは本の解説でも紹介でもないですが…。

以上で選んだ本の紹介を終わります。ご協力頂いた保健大図書館の方々、成田本店新町店の方々、私が書いた文を読んでくれた方へこの場をお借りして謝辞を述べさせていただきます。ありがとうございました。



『想像ラジオ』
いとうせいこう
河出書房新社
913.6||I89



『石巻市立湊小学校避難所』
藤川佳三
竹書房新書
竹書房
369.31||F58



『冷血』上
高村薫
毎日新聞社
913.6||Ta45||1



『冷血』下
高村薫
毎日新聞社
913.6||Ta45||2



『神様のカルテ』3
夏川草介
小学館
913.6||N58



『県庁おもてなし課』
有川浩
角川文庫
角川書店
913.6||A71



私は本が好きだ。時間がないことを理由に本を読む機会を少なくしてしまっていたが、ブックハンティングに参加して様々な本を読み、自分の視点を広げることができる等、改めて読書は成長のために大切だと感じた。

今回私は5冊の本を読んだ。

- ① 『ピンクとグレー』 著者：加藤シゲアキ
りばちゃんと親友ごっちの出会いから別れまでを、飲み物をキーワードに展開されていく物語であった。2人は幼なじみで、同じ学校に通い、バイトも一緒など、長年の付き合いのためにライバル心が現れるのは当然だと思った。ライバル心が生まれることで自分の成長にもつながるというのは、私自身も感じていることで、改めて昔からの付き合いをこれからも大切にしていきたいと思った。また、ごっちは姉がいて、姉の影響を少なからず受けており、このようなことは私の妹に似ているところがあるなど自分の立場に置き換えながら、読み進めていくことができる内容であり、考え深かった。

- ② 『結婚式で本当にあった心温まる物語』 著者：山坂大輔

「100組の結婚式には100のドラマがある」という見出しに納得した。確かに全く同じ披露宴の進行はない。私は花嫁が読む両親への手紙にはいつも感動させられ、配膳スタッフとして披露宴に立ち会うことができることは幸せなことだと感じた。本の内容に「初めてのありがとう」という物語があるが、この物語を読んで、伝えたいことは人それぞれであり、たった5文字の「ありがとう」のみであっても伝わるものがあるのだと感じた。ウェディングプランナーやシェフ、司会者といった様々な立場から見た結婚式について書かれている話であり、私もスタッフの一員として、いつも綺麗で幸せそうな花嫁さんのためにも、披露宴が成功するように少しでもサポートしたいと改めて思うことができる話であった。

- ③ 『あたたかい水の出るところ』 著者：木地雅映子

主人公ゆずは温泉に入ることが至福であり、読み進めていくほど、私も温泉に行きたくなる物語であった。今後について、それぞれ不安や悩みなどが多くあるだろうが、受け止め方が1人1人異なる。それらの問題に対して、逃げても結局は向き合わなければならない時がくる。瞬時に立ち向かうだけでなく、この本を読んで、時間をおき心の整理をしてから立ち向かうことも1つの対応だということに気付かされた。

④ 『93番目のキミ』 著者：山田悠介

植木也太が買ったロボットのシロを中心とした切ない話であった。ある事件がきっかけとなり、ロボットに対しての世間の見方が変化してしまい、自由に生活できなくなったシロがとてもかわいそうだった。確かに、シロの事情を知らなければ、世間の評価に影響のみで、深く考えず私自身もロボットに対して怖いなと感じてしまうと思う。自分はどうか考えるのか、世間の評価を取り入れながらも、周りに流され過ぎないようにしたいと思う話の展開であった。

⑤ 『いつまでもショパン』 著者：中山七里

これほど音楽中心、ピアノ曲中心の本は初めて読んだ。ピアノ曲1曲1曲知らないとしても想像することができるため、面白い内容であった。ショパンコンクールを通じて、他の人の演奏を聴くことで、ヤンは今までの考え方が変化することで、ピアノの弾き方についてもより良い方向に変化していた。テロによる身近な人の死により、感情を出せる引き方になっており、やはり周囲の人の影響は強いなと感じた。

本を通して、周囲の人の影響が強く、私自身も他の人に影響を与える立場であるのだなと感じた。ブックハンティングに参加し、考えを深めるなど、自分の成長につなげることができた。今後も時間を見つけて読書をしていきたい。



『ピンクとグレイ』
加藤シゲアキ
角川書店
913.6|Ka86



『あたたかい水の出るところ』
木地雅映子
光文社
913.6||Ki19



『いつまでもショパン』
中山七里
宝島社
913.6||N44



『結婚式で本当にあった心温まる物語』
山坂大輔
あさ出版
385.4||Y43



『93番目のキミ』
山田悠介
文芸社
913.6||Y19

ブックハンティングに参加して

社会福祉学科 2年 兼子 真奈美

今回ブックハンティングに参加させていただいたことで、普段自分で読むことのない分野の本にも目を向けることができた。また、自分が読みたいのはもちろんだが、他の人にも是非読んでもらいたいという本も選ぶことができたと思う。『みんなの死にかた』という本がその一つである。これはタイトル通り、様々な人の死にかたを分析しているものである。死にかたというのは死因が何であるかということではなく、これから死にゆく本人が何を求め、どのように自分の人生を終わらせようとしたのか、周りの人間はどう立ち会ったのかということであり、様々なケースが書かれている。静かに人生を終わらせようとした人、自分の死を意味のあるものにしようとした人、死にゆく人をそばで支え続けた人など多くの人の話がある。著名人の死が取り上げられており、「自らの人生をどのように終えるのか」「自分と親しい人にふさわしい死とは何か」を考えさせられる作品だった。特に印象的だったのは、金子哲雄さんの話だった。流通ジャーナリストとして活躍していた金子さんは自らの死をプロデュースし、後の世の中を考えて自分の死についての情報を残した人だった。メディアへ出演することが多い人だったために、彼の死には驚かされたものだが、この本を読むことで当時の彼の行動

の意味を知ることができた。

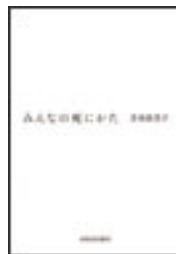
孤独死やQOLなどが注目されつつある現在、「死」というものは誰にでも訪れる物であるし、周りの人の死に立ち会うこともある。親しい人間がどのように死を迎えたいのか、自らもまたどのような死を迎えたいのかを考える機会が必要であるように思う。すべての人が望むような死を迎えられるとは限らない。病気や事故など、不測の出来事に見舞われる可能性が捨てきれないからである。しかし、自らがどのように人生を終えたいかを考えることは私たちの人生の過程における最後の権利であるように思う。他人の人生の一部に関わる職業に就く人であればあるほど、一読してもらいたい作品だと思う。



『嵐が丘』
エミリー・ブロンテ
著
鴻巣友季子訳
新潮文庫
新潮社
933.6||B75



『マザー・テレサ語る』
マザー・テレサ述
ルシンダ・ヴァーデー編
猪熊弘子訳
早川書房
198.22||Th3



『みんなの死にかた』
青木由美子
河出書房新社
281||A53



『みんな「おひとりさま」』
上野千鶴子
青灯社
367.75||J45

二年続き、ブックハンティングに参加させていただきました。今年も楽しく本を選ぶ機会を与えてもらったと思います。

本を探す、という行為は、私にとって一種の冒険であり、夢のようなものです。数多くの作品を選び出し、著者の思考の海へ投げ出されるのでしょうか。それは航海ともよく似たものだと想像できます。知識や物語を追い求めて本屋に足を運ぶ人が途絶えないのは、そのような知識への探究心からくるものなのではないでしょうか。少なくとも、私はそう感じます。

さて、ブックハンティングで小説を中心に何冊か選択しましたが、今回皆さんに紹介したいのは『ちいさいモモちゃん』という作品です。私がまだ小学生だった頃に読んだ本であり、子ども向きのものなのですが、是非皆さんに読んでいただきたくこちらを選択させていただきました。小説よりは童話に近い形で、人参が話したり雲の上に乗ったりと、幼少時に夢を見ていた世界を描いています。私はこの作品が大好きです。狭い社会の中で過ごし、現実と理想の境界がはっきりしていながらもまだ夢を見て



いたかった子どもの気持ちを具現化したような世界観が、当時の私には馴染んだのでしょうか。淡い色のついたガラス玉を陽に透かしたときの幻想的な雰囲気、皆さんは昔感じたことがあるでしょうか。幼い頃に置き忘れてしまった大切な何かを再び拾い集めてくれる、そんな作品だと思います。

今回のブックハンティングも、心躍らせながら参加させていただきました。次回も機会に恵まれましたら是非本を選びたいと思います。これからの読書生活も、有意義にしていけるのであれば本望です。本当にありがとうございました。



『少年アリス』
改造版
長野まゆみ
河出書房新社
913.6||N16



『咲くや、この花：左近の桜』
長野まゆみ
角川文庫
角川書店
913.6||N16



『世界から猫が消えたなら』
川村元氣
マガジンハウス
913.6||Ka95



『ちいさいモモちゃん』
松谷みよ子
講談社文庫
講談社
913.6||Ma88



『冷たい校舎の時は止まる』上
辻村深月
講談社文庫
講談社
913.6||Ts44||1



『冷たい校舎の時は止まる』下
辻村深月
講談社文庫
講談社
913.6||Ts44||2



『皇妃エリザベートの生涯』
マルタ・シャート著
西川賢一訳
集英社文庫
集英社
289.3||Sc1



『声の網』
星新一
角川文庫
角川書店
913.6||H92



『煙燻の匣』上
京極夏彦
講談社文庫
講談社
913.6||Ky3||1



『煙燻の匣』中
京極夏彦
講談社文庫
講談社
913.6||Ky3||2



『煙燻の匣』下
京極夏彦
講談社文庫
講談社
913.6||Ky3||3



今回のブックハンティングは、私にとって二回目の参加になりました。前回は事前あまり目当ての本を調べていかずに欲しいものを見つけることができなかったので、今回は前もってインターネットで作者や本のタイトルを調べてから参加しました。私は日本の歴史に興味を持っているので、それに関連した本が欲しいと思っていました。

6月某日、新町の成田本店へ出向いて友人と一緒に本を探しているときは、とても迷いました。事前に調べてあるといっても、お店に実際に並んでいなければ手に入りません。たくさん予算はあると思っていましたが、あれもこれも…と探して選んでいたら、あっという間に予算をオーバーしてしまって、諦めた本もありました。結局実際に欲しいと思って事前にリストア



『無縁社会』
NHKスペシャル
取材班編著
文春文庫
文藝春秋
368||N69



『「日本の神様」がよくわかる本：八百万神の起源・性格からご利益までを完全ガイド』
戸部民夫
PHP 文庫
PHP 研究所
172||To13



『日本人はなぜ日本のことを知らないのか』
竹田恒泰
PHP 新書
PHP 研究所
210.3||Ta59



『バサラ将軍』
安部龍太郎
文春文庫
文藝春秋
913.6||A12



『黒田如水』
吉川英治
吉川英治歴史時代文庫
講談社
913.6||Y89



『モンスター』
百田尚樹
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||H99

ップしておいたものは、一冊も手に入りませんでした。在庫が無いので取り寄せになると言われた本もありました。そういった本でも、取り寄せ後に受け取れるようにブックハンティングで対応してくれたら、もっと有意義に本を探ることができるのではないかと感じました。

私が今回一番欲しいと思っていたのは日本神話に関する本です。小中高と習った日本史では、最初に学ぶのは大抵旧石器時代です。しかし戦前はどうやって日本が誕生したかという「神話」から始まっていたと聞きます。日本人なのに日本の神話を詳しく知らないのはちょっとおかしい感じがすると思ったので、古事記と日本書紀に関する本を選ぼうと決めました。結果として手に入ったのは目的の本ではありませんでしたが、同じ作者さんの人気のある本だったので結果オーライかなと思います。その他初心者でも取り掛かりやすそうな文庫の解説書があったので、そちらも参考に読んだらよ

くわかるかなと思います。

私が二番目に欲しいと思っていたのは黒田官兵衛(如水)の本です。来年の大河の主人公は黒田官兵衛だということで、前もって基本的なことは知っておきたいなと思っていました。書店でフェアなどを展開して派手に売ってあるのかと想像していましたが、本棚の片隅に置いてあったので少し肩すかしをくらった気分です。それでも手に入れることができたので不満は特にありませんが、欲を言えば、もっと比べる対象があれば選択肢が広がったのではないかと思います。

全体的に見て今回のブックハンティングは、前回より内容が濃く、納得のいく選択が出来たと感じています。ですが、通販や取り寄せに対応できたらもっとたくさんの本が手に入るので、そういった対応がされていればもっと選択の幅が広がって良かったのではないかと思います。



『シャーロック・ホームズの冒険』
コナン・ドイル著
延原謙訳
新潮文庫
新潮社
933||D89



『レ・ミゼラブル』上
ヴィクトル・ユゴー著
永山篤一訳
角川文庫
角川書店
953.6||H98||1



『レ・ミゼラブル』下
ヴィクトル・ユゴー著
永山篤一訳
角川文庫
角川書店
953.6||H98||2

去年に引き続き、今年もブックハンティングに参加したが、密かに今年は全部ミステリーで揃えようと決めていた。しかし、和歌集、それも小野小町のその誘惑には勝てなかった。さらに、『源氏物語の和歌』なる本を予算オーバーのため、結局自費で購入することにもなったが、今年もお目当てのものを買うことができ、参加してよかったと思う。

さて、今年のお目当てはエラリー・クイーンの『Xの悲劇』だった。私は、本格といわれるミステリーが好きで、クイーンの作品は以前からずっと気になっていた。しかも、大好きなミステリ作家のひとりである綾辻行人さんがクイーンのファンで、『迷路館の殺人』にクイーンの『Xの悲劇』を効果的に用いており、どんなものなのか気になって仕方なかつ



た。実際に読んだ感想としては、論理的、の一言に尽きる。『迷路館の殺人』のある登場人物がクイーンの作品を「端正な論理」と評していたのも頷ける気がした。伏線を探しながら読むのも楽しかった。しかし、私が求めているものとは何かが違う。面白くないわけではないが、私はクイーンよりクリスティーが好きだと感じた。クリスティーの作品は二つ選んだが、どちらも流石クリスティーだと感じた。江戸川乱歩ではないが、クリスティーに脱帽、である。



『小野小町』
大塚英子
コレクション日本
歌人選
笠間書院
911.132||O88



『占星術殺人事件』
島田荘司
講談社ノベルス
講談社
913.6||Sh36



『死が最後にやってくる』
アガサ・クリスティー
著
加島祥造訳
ハヤカワ文庫
早川書房
933.7||Ch58



『スタイルズ荘の怪事件』
アガサ・クリスティー
著
矢沢聖子訳
ハヤカワ文庫
早川書房
933.7||Ch58



『Xの悲劇』
エラリー・クイーン著
越前敏弥訳
角川文庫
角川書店
933.7||Q3



『Yの悲劇』
エラリー・クイーン著
越前敏弥訳
角川文庫
角川書店
933.7||Q3



『Zの悲劇』
エラリー・クイーン著
越前敏弥訳
角川文庫
角川書店
933.7||Q3



『未完の贈り物：娘には目も鼻もありません』
倉本美香
産経新聞出版
916||Ku53



『ビッグダディの流儀』
林下清志
主婦と生活社
916||H48



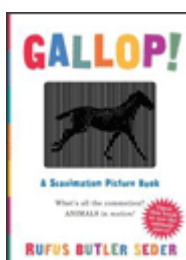
『ハダカの美奈子：ビッグダディとの2年間、あたしの30年間』
林下美奈子
講談社
916||H48



『プラチナデータ』
東野圭吾
幻冬舎文庫
幻冬舎
916||H55

『ビッグダディの流儀』は、11人兄弟の10番目として生まれた清志さんの生い立ちから始まる本です。柔道に夢中になり、天職ともいえる柔道整復師と出会った青春時代、厳しい修行時代、師匠の一人娘を好きになるも師匠の看板を背負う覚悟ができず夜逃げしてしまったこと、建設現場で働いた後、整骨院で働いたこと、美奈子さんとの出会いから離婚などがつつづられています。ビッグダディは、自分の人生をしっかりと生きている人なのだなと思いました。夢中になれるものに出会い、天職を見つけたら迷うことなく突き進む。師匠の教えもあり、人からどう思われるのかではなく、自分がどうしたいのか・どうすべきなのかを考えることができる人間として生きており、他人からどう思われようと関係なく、清志さんは、ひとつの人生を、責任を持って生きていると思いました。

『ハダカの美奈子』は、美奈子さんのしゃべり口調なので、すらすらと読むことができました。別居、離婚の真相はもちろん、父親からのDV、15歳で妊娠、元夫からの執拗なDV、2度の離婚、殺された元カレ、番組では隠さざるをえなかった2つのタトゥー、そして番組放映中にミイラ化して孤独死していた父親…。18歳年下の妻として一緒に過ごしたダディとの2年間、そして30年の壮絶人生を振り返っています。とても生きる勇気を与える一冊で、テレビでは明かされなかった新事実があって読みがいがありました。



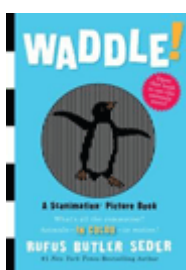
『Gallop!』
Rufus Butler Seder
Workman Publishing
726.6||Se14



『死ぬまで自由な冒険者として生きるために20代でやっておくこと、捨てておくこと45』
本尾読
あ・うん
159||Mo88



『女性のためのもっちゃん「冷えとり」生活：幸せになる医術』
進藤義晴/進藤幸恵
PHP 研究所
498.3||Sh62



『Waddle!』
Rufus Butler Seder
Workman Publishing
726.6||Se14

『死ぬまで自由な冒険者として生きるために20代でやっておくこと、捨てておくこと45』は、45の項目を5章に分けて、夢と目標について、仕事について、友人・仲間・師・家族について、恋愛について、人としての成長について書かれています。一つ一つが、4ページ程度に短くまとめられているため、わかりやすく読みやすい本でした。納得がいくこと、そうなのか？と感じること、人それぞれだと思いますが、考え方の参考になりとても面白い内容でした。

『幸せになる医術 女性のためのもっちゃん「冷えとり」生活』は、初心者にわかりやすく書いてあります。これから冷え取りをしようと考えている方の入門書としてお奨めです。女性の為の知識や工夫やファッションなどにも細かく載っていてとても分かりやすかったです。「持っているものをアレンジしましょう」とか無理しないでいいと言うことが記載されていて納得できる内容でした。

『GALLOP!』と『WADDLE!』は英語の絵本なのですが、中の動物が動きとても可愛いです。英語も簡単な文章なのでとても読みやすくわかりやすい内容です。小児の実習の時など、子供と関わるときに役立つのではないかと思います。

執筆者本人の希望で、一部の文章は匿名となっています。



ブックハンティング
に参加してみて

看護学科 3年

ブックハンティングに参加してみても、学生が読みやすく、興味があるような本を選びました。普段あまり本を読む機会がないのですが、ブックハンティングをきっかけに本を読む機会が増えたら良いと思います。



『ガネーシャと貧乏神:夢をかなえるゾウ2』
水野敬也
飛鳥新社
913.6||Mi96



『思いやりのこころ』新装版
木村耕一
1万年堂出版
159||Ki39



『考える練習』
保坂和志
大和書房
914.6||H91



『プラチナデター』
東野圭吾
幻冬舎文庫
幻冬舎
913.6||H55



『上質生活:品格ある暮らしのルール』
加藤みこ
ディスカヴァー・トゥエンティワン
590||Ka86



『カイジ「命より重い！」お金の話』
木暮太一
サンマーク出版
330||Ko26



『超訳ニーチェの言葉』
フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ著
白取春彦編訳
ディスカヴァー・トゥエンティワン
134.94||N71



『僕の死に方:エンディングダイアリー500日』
金子哲雄
小学館
916||Ka53



『経済のこともよくわからないまま社会人になってしまった人へ:ひとめでわかる図解入り』
池上彰
海竜社
330||I33

執筆者本人の希望で、一部の文章は匿名となっています。



『アートで見る医学の歴史』
ジュリー・アンダーソン/
エム・パーンズ/エマ・シヤクルトン著
矢野真千子訳
河出書房新社
490||A46



『ハート・ロッカー』
Mark Boal 脚本
宮本節子ほか訳
名作映画完全セリフ集
フォーインスクリー
ンプレイ事業部
837.7||B61



『脳と体にいいことずくめのベビーマッサージ』
山口創/山口あやこ
PHP ビジュアル実
用 BOOKS
PHP 研究所
599||Y24



『カラダの不調を改善!ツボ&リンパマッサージ』
山田光敏
主婦と生活社
492.75||Y19

イラクにおけるアメリカ軍爆弾処理班の一瞬の気も許さない命懸けの作業と恐怖に満ちた日常を描いた映画のセリフ集です。1日が終わるまで生きている保証などない兵士たちの心理が一つひとつのセリフから伝わってきます。左ページに英語、右ページに日本語訳が書かれているので、英語を極めたい方にもおすすめ!

こどもと触れ合うだけでたくさんいいことがあります。この本は、歌にあわせて・発達にあわせて・生活シーンにあわせてできるマッサージの方法が書かれています。小児や母性の実習でこどもや赤ちゃんにやってみると、喜んでくれるかも!

痛み・不調・女性の悩み・部分やせに効くツボ&リンパマッサージについて、絵と字で分かりやすく書かれています。体は手入れが大切です。自分自身・家族・友人にやってみましょう。コンプリメンタリーセラピーに興味のある方におすすめ!

執筆者本人の希望で、一部の文章は匿名となっています。



BOOK HUNTING 2013

シリーズ「図書館を使いこなそう」第21回

電子書籍 (eBooks) スタート!!

電子書籍 (eBooks) NetLibrary は世界最大級の学術系電子書籍コレクションです。

本学では購入分洋書 32 タイトル+無料分約 5,000 タイトルを利用できます。

(2013年11月現在)

学内ネットワークに繋がったパソコンから閲覧可能です。

利用したい方はこちら↓

[eBooks トップページ \(学内限定\)](#)

[ユーザーガイド \(PDF\)](#)

終了時には画面右上の「Exit」(または「終了」)の文字をクリックしてください。

ぜひ一度、お試しあれ。





図書館広報キャラクター「トリゾウ」

2011年3月、社会福祉学科成田悠介さん・福士悠輔さん・牧野祥諒さんのアイデアをもとに誕生。図書館の広報活動で活躍しています。



青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第21号

平成25年11月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/library/index.html>